

英国で暮らす親子のための

メンタルヘルス・クリニック

第4回

当コラムでは、英国で暮らすご家族が抱えるさまざまな悩み、メンタルヘルスを専門とされる小児科医の森先生と、英国心理療法協会公認サイコセラピスト（心理療法士）の日保田先生にお答えいただきます。

夫の転勤で10歳になる子ども（男の子）と英国に引っ越してきて5年になります。最近思春期なのかコミュニケーションがなかなか取れず、また私に話しかけるとともに英語を使うようになってきました。（私は子どもほど英語が上手ありません。）子どもと上手にコミュニケーションするには、どのように対処したらいいのでしょうか？

5年もいると、英国の生活にもすっかり慣れたことでしょう。また、特に子供は、言語を覚えるのが早いので、英国人の子供と対等に英語で会話ができるようになっていられるかもしれませんね。親としては、子供の語学能力に対し、誇りを感じ嬉しいと思う反面、日本語が遅れてしまうのではないかと、日本人としてのアイデンティティを失うのではないかなど心配になり、複雑な気持ちをお持ちになるかもしれません。特に、親が、子供ほど英語がうまく話せないと思うことで、子供が自分からかけ離れた存在になっていくのではないかと思ったり、コミュニケーションがうまく取れなくなっていくと、子供との関係に

隔たりが出てきたりすることもあります。また、こちらが一生懸命話しかけているのに、英語でまくし立てられるととてもいらいらしたりするというのは、在英の日本人親子の間でよく聞く話です。

そのようなコミュニケーションの中、母親にも様々な心理作用が働いていると思います。大人は子供より言語習得が遅いため、母親の言語習得がうまくいかず、子供だけがうまく話せるということが、母親の劣等感に繋がっていくこともあります。一般的に、日本人の異文化の不適応に、言語の壁というものが非常に影響します。多くの日本人が、

英語に対する能力不足により、自信を失ったり、フラストレーションを感じ、中には、引きこもりを経験する人もいます。

言語の問題というものは、ただ、言葉が話せなくて自信喪失に繋がるということだけではなく、人間関係の間で、パワー関係も作ってしまいます。日本人は、英語が話せない、その習得がうまくいかないということで、劣等感を感じる人が多いため、英語を話す人たちとの間でも、対等の関係が作れないという経験をする人が多いのです。そして、子供が英語で話してくると、その関係に対する自分の気持ちが無意識のうちに反映されてくることもあります。その場合、自分が子供の前で無力さを感じ、気弱になってしまうことがあるのです。

英語で自分に話しかけてくる子供に対し、これを何かのいい機会と捉えて利用することはできないでしょうか。親が日本人である以上、親とのコミュニケーションを適切に行うには日本語でなければならぬということを教え、日本語で話すように促すことはとても大切です。つまり、子供が日本人として親を尊敬できるように、また、子供がコミュニケーションを大切にすることを学べるいいチャンスではありませんか。大人になってもコミュニケーションができずに困っている人はたくさんいます。これからの人間関係でもコミュニケーションが大切であり、そのためには相手を尊重しなければならぬということを学べるいい機会だと思うのです。そして、そ

れだけではなく、英語が必要なときには英語、日本語が必要な時には日本語と、バイリンガリズムを適切に学べる大切な時期でもあり、バイリンガルとしてやっていける自信をつけさせるいい機会でもあります。その結果、子供のアイデンティティを育てるいい機会にもなってきます。

今回お答えいただいたのは…

英国心理療法協会公認サイコセラピスト
(心理療法士) 日保田 裕子先生
www.japanuktherapy.com

講演会のお知らせ

特別講演会

「親のこころ、子どものこころ～
今、親子関係を考える～」

大正大学人間福祉学科教授
村瀬嘉代子先生

「小さな贈り物—傷ついたこころにより添って」等多数の著書で知られ、日本臨床心理界で中心的活躍を展開する村瀬嘉代子先生からの心に響くメッセージ

日時：2006年6月16日（金）
18:30～19:30

場所：CCPE (Centre for Counselling and Psychotherapy Education)
2 Warwick Crescent, London, W2 6NE
最寄り駅：Warwick Avenue

会費：1人10ポンド

予約・お問い合わせ：

電話：079 4769 0077（森）

E-mail: otoiawase@hotmail.com

*当日受付可ですが、会場の都合上満席になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにご予約下さい